

昭和四十二年三月二十八日招集(第八号)
第一面市議會定例会會議錄

館山市議會第一回定例会議錄(第八号)

昭和四十二年三月招集

三月二十八日(月曜日)

議事日程(第八号)

議案第三号 昭和四十二年度館山市一般会計予算

議案第四号 昭和四十二年度館山市国民健康保険

特別会計予算

議案第五号 昭和四十二年度館山市簡易水道特別

会計予算

議案第六号 昭和四十二年度館山市と畜場特別会

計予算

議案第七号 昭和四十二年度館山市保養施設特別会

計予算

議案第八号 昭和四十二年度館山市上下水道特別

予算審査特別

委員会

委員長報告

特別会計予算

議案第九号 昭和四十二年度館山市南部簡易水

道事業特別会計予算

午前十時五十分開議

議長（田中祿郎君）

本日の出席議員数 三十一名

これより第一回市議会定例会第八日の会議を開会いたします。

まず監査委員より一月及び二月実施した例月検査の結果が報告されております。

それぞれお手元に配付の印刷により御了承願います。

日程第一議案第三号及び第九号昭和四十二年一般会計

並に特別会計予算案を一括して議題といたします。

ただいま議題となりました各会計予算案はともにある三月二十三日の議会にて特別委員会に付議されたものである。

従いましてこれより本予算案に付する予算審査特別委員会における審査の経過並に結果につき委員長の報告を求めます。

二七番議員 嶋田繁君

(二七番議員登壇) (拍手)

二七番 (嶋田繁君)

去る二十三日の本会議におきまして予算審査特別委員会に付託となりました「議案第三号乃至第九号昭和四十二年度館山市一般会計並に特別会計予算案につきまゝて委員会におきまする審議の経過並に

結果にツいで即報告申しに付ます。

委員会は三月二十四日、二十五日の兩日招集いたし委員各位の推薦によりまして不肖私が委員長の重きを勤めさせて戴くことになりました。

申しにげる迄もなく本予算案に付しましては去る

ニテ三日、三日兩日の本会議に於きまして同僚諸君より予算の大綱更には之等細部に至るまで充實した御意見御質疑等によりまして統体的な審議は畧々なされたものと思考せられますが私共委員会と致しましては本予算案に付し館山市勢進展の現況に即した健全且つ均衡財政が堅持されて居るか否か議会の立場から付託された趣旨を体しまして慎重に審議を重ねたところでございます。

特に本委員会は総額十三億九千五百余万円の予算執行にあつ

真に市民のための明るく政治を具現し得る施策がもたらうて
れて居るか否か尚市政運営に當つての所信等々以上の其
を審議の基本尺度として慎重に検討を加えたわけで
あります。

即承知の通り本間市長は市民の信頼と信望を荷われまし
て無競争と云う曾て見られなかつた姿に於て華々しく
第二期目を迎へられたのであります。この時市長就任
以来市政の根本理念として掲げられまいたところの
「観光施設の整備」「産業の振興」「教育施設の整備
拡充」の三指標に對し其の實現の歩みを更に早められ
目的達成のための力一任の努力が傾けられるものと私
共は大きな期待と明るく希望を抱えて居るものでござい
ます。本間市長を迎えまいこの方一回予算編成を届致
した昭和三十一年当時のことを想えば其の願に於ては

勿論各種事業等にありましても著しい伸展のあとが
見受けられ一応自治体としての形態は畧々整ったもの
と思われその御努力に对しましては深く敬意を表す
る次第でございます。

今後の課題といしましては市の現況をしっかりと把握
すると共に速かに統一の施策を充分検討し完全なる計
画を立て市民生活の飛躍増大をはかることこそ市政へ
参與するものに課せられた重要問題であらうかと信ずる
ものであります。

以上述べました様な観点から致しまして審議に於ける
各委員の質疑は勢之広汎多岐に亘つたものであります。
以下委員会に於きまする審議の概要につきまして申し
上げたいと存じますが数多い個々の質疑応答は一応有
畧させていただき論議されまして主なる点と委員会と

致し、まして特に要望し、ました事項を取り上げ、て御報告
申し上げますので、この点即豫承の程、即願ひ致し、ます。

先づ一般会におきに於き、まして議會費について、ですか本
會議のに於ても指摘された如く、議員定数の削減に
より、議會の機能をより十分に發揮するためには、議
會事務局充實の必要性に意を輸すべきであると思ひ、
（まゐたところ、

全般的な基本方針としては、事務局機械の改善等に
より、たい所存定員は之を増さな、方針を取、て居
ります、が本件については、議會の立場から決定すべき
問題であ、て、議會で充分審議された上で、所置致し
たいとの答。

總務費中、鉄道利用債利子補給について、の質問に、打
し、これは、房總西線の電化工事費に、打、ての利子補給

であつて沿線市町村工事完了まで毎年負担するところと相當な利子補給額になると思われる。尚房統西線の電化工事につきまゝは施政方針にも述べてありまゝ通り館山市の観光その他産業面に及ぼす影響は極めて大でありこの実現につては期成同盟会等これ等力を結集して努力する様特に要望致しまゝた。

次に選挙費につてであります。が本年度は特に地方統一選挙もあり推進協議会の果す役割は大きく之等に期待するものであります。が市民の末端に迄浸透さす運動と云う観点からこの推進委員の選出につては現状の部落会長、区長中心でなく真にこの運動の意義に関心を持つ人を求むるに意を傾しこの予算が効率的に使用される様強く要望されまゝた。

尚之に關連致し、まゝ本年行われる市議会議員選挙公営ポスター掲示場の奥につて賛し、また知設置の意志は持たないとの答弁がありました。

次に交通安全対策の一端を、まず本年度新規事業として交通整理員五名を配備する予算が計上されておられ、洵に時宜を得た施策であり、予防対策の強化の面から市当局の交通安全に対する理解に敬意を表するものであるが、然しこれとて現在の交通事情から見て充分であるとは言えない。そこで既に全国で実施されて居る市民の交通事故に於ける互助制度の確立につて賛し、また答へとして、其消制度につきまては、川口市等先進地を視察して早くから検討して居るか、特に本市としてば、予防面に力を注ぐべきであるとの考り方を取つて居る、知し事故にあつた場合を思ふと

非常に良い制度でありますので交通安全対策協議会が本問題を取り上げ之が結論をまゝ更に検討を加え早期に具体化を図りたく現在研究中なる旨の答

次に民生費中児童措置費についてでありますが本件につきまゝは本会議に於て十分検討され更に常任委員会に於きまゝでも詳細に調査せられた問題でありますが本委員会と致しまゝも問題の重要性に鑑み特に次の意見開陳がなされたのであります。

乃ち市当局に於かれまゝは機関委任事務であるが故に強く監督はあたわなうと云う正面からの法解釈だけでなく今回の事件についてもよく来るところを深く探究し市も責任あることを充分反省し今後においてても絶対皆無とは言ふべきでないこの種の事態についてはよく留意し場合によっては国県の承認を求めると遺憾

のなう様指導監督して行くことが市の取るべき通
であると思考する。今後二度と斯るあやまちなう様
行動される事を要望した次第であります。

農林水産業費についてあります。市長の三大施策の
一つであります。「産業振興」特に其の中核をなすもの
は第一次産業であるとの覬望から論議が集中された。
市長は「万都市建設を標榜し産業の振興を重
と策として掲げられて居ることは全く同感であり
ます。然し現実には山形市の人口は減て
ありえは第一次産業に基因して居ることも又明白な
事実であります。

乃ち本予算に於きまうて「万都市建設への足がが
り重策として施政方針に言うところの予算措
置がとくに具現されて居るか重実的意欲的なもの

かゝりに施されて居るかと言うと莫から検討されて行くと遺憾ながら従来通りの踏襲予算であると言ひななければならぬ。

格差とは現在に於ける農業所得の格差から起る専業農家の減少後継者問題そして人口の流出これらの山積する課題を解決するために固に於て構造改善事業が強く推進されて居り本市に於きまゝ之を積極的に取り入れた努力に對しては敬意を表するものでござります。

四十一年度に於きまゝして山本安柳里地区でそれは畧々完了を見たいわけですが實際に之等成果が現われるのは寧ろ今後に係すべきで構造改善事業の終局の目的とも言うべき余剰労働力を引きづくに待つて行くべきかと言う対策がなされなければならぬ。

しかし、構造改善事業は決して画一的なものではなく、その地区・地区に応じた商地・商作の基本に立つても、全市的に更に長期的計画の中に於て、而も全般的な農業政策の上から実施されねばならぬ。この事は水産業についても全く同じことが言われるのであります。質疑の過程に於て、これ等の点が活発に論議されたのであります。特に本委員会と致しましては、本問題について、館山市産業の基盤でありながら、年々衰退して行く一次産業の現状を充分認識せられ、まして今後根本的な長期計画を立案し、これからの農業・漁業は、いかに進むべきか、其等構想を發表し、併し市にありて強力な施策を推進し、若し世代に期待と夢を抱かせる様強く要望致しました。次で観光費についてあります。館山市の観光行政

の一翼を荷 観光協会の果す役割は非常に大きいものがあり今後、発展が望まれるわけであり、荷う観光協会の果す役割は非常に大きいものがあり今後、発展が望まれるわけであり、する市当局の指導育成につくのを若い方を賛一まし、たところ、観光協会については各関係業者自身、其の重要性を徐々に認識されて来て居り、四十一年度に於ても夏の観光祭、秋のキャパン等中心になっておこな、い再建後援会費も五百万円の目標額には達しなかつたが、徴収にも積極的に動いて居るのが現状であります。今後益々活発な運営がなされ、市の統合的観光の一環として十分期待がかけられるものと確信して居り、市も之に灯し全面的に協力すると共に更に育成して行きたいとの力強い表明がなされました。

次に消防費についてでありますが今年度新らしく専任消防長の予算が計上されまいと本件につきまゝ一は本会議でも論議された問題でありますか予算計上に當つて関係の消防委員会消防団等々との協議もよく予算計上を見たらうとは極めて遺憾であります特に本会議に於て指摘された通り十二月定例会に於て議会は自主的に議員定数の削減を断行し市民の要望にも応えて居る事実等と思う時特に本年度に於て何が政に置かわばならぬのかこの根拠を明確にせられたいとの質問に対し執行部より専任消防長を置かんとする法律上の根拠は地方自治法に市長の兼職禁止の条項があり助役もこれに準用を受ける。

さらに国家消防庁の行政指導の面に於いても町村長

は消防長を兼ねることはいいけなりの指導がなされております。

但し近い将来専任消防長を置く前提のもとに暫定的に兼取することは差支ないわけですが原則はあくまでも専任を置くのが正しい案であると言う事が法律上からは言えるわけであり、乃ち市と致しましては三十九年消防本部を設置して以来相当年数もたりますし果下状況も二十一市中五市が兼任でやって居るが傾向としては専任の方向にあり加えて消防署、消防団の志気の高揚、消防行政の強化の面からも専任消防長の設置を考えたきと日の回答がありました。

本委員会と致しましては市当局に對し議会が特に議員定数を削減した趣旨を十分考慮し、この予算が無駄に使用される事のなす様さうに選任については慎重に行う

様強く要望致しましたところ予算計上に當つて市長入
院のため消防委員会等に諮らなかつたことにつき遺憾の
意を表し之が罷任に當つては市長の権限なから特に議
会の強い意志を体し市長單獨に行うはやめ消防委
員会等関係機関にかかり十分検討の上致すとの表
明がなされました

教育費でございますが学校統合問題に於て特に議
論されたのであります本問題にありましては兩元年末
本会議予算委員会或は決算委員会等に於きま
して幾回となく論議され其の都度指摘されたところで
あります本委員会と致しまでも教育は断いて其
の場限りのいわゆる無定見なものであつてはならぬ教
育の尊厳を思い確固たる信念の上に立つ計画性を持
た予算の編成執行を行う様強く要望いたしました

尚統合問題にも関連を待ちます。が現在の畑や学校に於ける生徒数は二十数名であり今後更に減少の傾向にあることが判明されて居り既に学校としての編成も出来得ぬ状態にあり最早荏苒日を送る余地はありません。この点につきましても単に教育と言う立場からのみならず市政全般の面から早急に対策を講じられる様併せて要望いたしました。

次に大入についてでございますが本年度は施政方針にもござります通り入札化の傾向にありしかねないにおきましては前年度からの計画事業が集中しております予算編成に当りましての労は推察されますところでご詢に多とするものがございます。

しかし本会議においても指摘されました通り市税における徴収率を九七%と高率を計上し本年

度の徴収状況から判断するも大入欠陥を生ずる
危険がほいとは言え得ない。今後市当局におかれま
しては不入の主務をなす市税の徴収に當つては万全の
体制をととのえ所期の目的達成に努め、やゝくも不
入欠かんを生ずることのないよう強く要望した。ま
次に特別会計国民健康保険についであります。が被
保険者が比較的所得者層であることにかんがみ保
険税の生活に對する比重は大きいものがあると思われ
る。市当局におきましては各種団体機関とともに国県に對
して補助金等の完全交付を強く働きかけるととも
に一方におきましては被保険者に對する受給態度の指
導の強化さらに医療機関に對し、まゝの専門的な
知識を持つ職員の新置等により審査の徹底を期し
もつて医療費の増大を防ぎ適正な保険行政を行

なうよう要望いたしました。

簡易水道会計について関連する問題であります。が現在の市営の水道についてはことごとく水不足になやまされておられ、すでに緊急な手段では解決出来ないう状態にあることはきわめて遺憾であります。

本問題解決につきまゝいはし、ば論議せられた如く水道の一之化はもとより、果敢に秘管の方法等根本的な対策を強力に推進するよう要望した次第でございます。尚増大する水道行政について水道課新設の意思はなつかをただしました。又新設の構想は持つてゐるか。市長も入院中であります。ぐといふわけにいかない。しかし四月の人員配置に於て水道係を設け、以て市民の期待に副いたとの答がありました。以上審査の概要を申し上げました。前段にも申し述べ

まゝに通りその他各委員より活発にあらゆる角度からの質疑がなされ慎重な審査の結果付託を受けました「議案第三号乃至第九号」は何れも原案通り可決すべきものと認め次第でございます。

特に本委員会と致しまして予算が議決されましても市政発展のためにはその執行に当たられまう理事者の運営に打する心構ひにまつ他なくりに高くいかに優れた理想も構想も財政の裏付なくしては單に空論に過ぎぬのみでありましてこの点先づ財政の確保に最大の努力を傾けその健全財政の上に立ち而も予算の合理的執行によつて時代の進運に伴う需用に充ちて市民の福祉増大に邁進して呉れまう様強く要望致しまして。

以上本委員会に於きます審査の経過並に結果に

食 山 市 議 会
つて御報告中にござりました希くは皆様の御賛同に
預りたく御願申し上ぐる次でござります。

最後に予算案審議に当つては関係職員特に市長
欠席のため職務代理者助役の御苦勞に對し深く
敬意を表するものでござります。

以上報告を終わります。(拍手)

議長(田中祿郎君)

以上で委員長報告を終わります。

ただいまの委員長報告に對し御質疑はござりませんか
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(田中祿郎君)

御質疑なしと認めます。

本案に對する討論はこれを省略することに御異議あ
りませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(田中祿郎君)

異議なしと認めます。よつて討論は省略することに決
しました。これより議案第三号至第九号を一括して採決
いたします。本予算案に付する委員長報告はいずれ
も原案可決であります。本予算案を委員長報告通
りに決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(田中祿郎君)

異議なしと認めます。よつて議案第三号乃至第九号昭和
四十二年度一般会計並びに特別会計予算案はいずれ
も原案通り可決されました。
この際市当局に申上げます。

ただいまの委員長報告にもありました数々の要望諸事

は今後新年度の予算執行並びに行政執行にありたい
候討せられんことを望みます。

この際市当局より了解を得たい事項があるとの申し出
があります。

暫時これを許します。

暫時休憩いたします。

午前十一時三十分 休憩

午前十一時三十三分 再開

議長（田中禄郎君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

市長職務代理者助役（小島武男君）

週日三五番議員さんからの質問があったことにつきまゝて

御了解を求めたいと思ひます。

有給休暇の繰り越し等につきまゝて条例不備の御指摘を承けましたけれども確かに労働基準法等の関係もございまして訂正して一般職員に不利にならないようにするという考へ方は持ておるわけでございます。

成文をととのえまゝに上程する段階に至りませんので後日早い機会に成文を得まゝて議会に付議したいと思ひます。その時期ははっきり申し上げられませんが施行して公布する。二ういう段取りに考へておりますのでこの際御報告申し上げておきます。

なお先ほども委員長報告によりまして皆さん方の御協賛を得て昭和四十二年度の予算が全部原案をもつて可決されまゝのことにつきまして心から感謝申し上げます。

私どもこれが執行に当りまして先ほど委員長の報告にも

ございまいたように誠心誠意これが執行を完全に行なうて
ういて市民の期待に反しないように責任を持ってこれが執
行に当りたう考えてございます。なお審議過程におきまいて
皆さまから申べられまいた各般の意見これらは十分執行
の面に取り入れまいて予算執行に当りたい。

こつうのことをこの際特に申上げて心からお礼にかえたい
と思ひます。(拍手)

議長(田中 祿郎 君)

おはかりいたします。

今日の会議に請願書並に陳情書を各一件日
程に追加したるに議題といたしたと思ひます。
これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(田中 祿郎 君)

異議なしと認めます。よって日程は追加され議題とするに決定いたしました。

まず請願書を議題といたします。

請願書を配付いたします。

(請願書配付)

議長(田中祿郎君)

朗読いたします。

(書記朗読)

(一〇番議員登壇)(拍手)

〇一〇番(田中実君)

小出隆子ほか四百四名より提出されました幼児教育の振興に関する請願書の内容を説明申し上げます。
この請願書はただいまの朗読にありまして、最近に

かつて非常に高まってきた幼児教育の重要性について
 館山市内の中・小中学校に在職する先生方が教育現場
 の実態の中から教師としての教育的な責任に立た
 れて出されてきたものでござります。従って請願書の前
 段に述べられておりますように文部省の幼稚園
 教育振興七カ年計画と厚生省の保育所増設五
 カ年計画の完全な実施を館山市におしてもすみや
 かに実現していただきたいというのがこの請願の本旨で
 ござります。

そこで今日の館山市におきます幼児教育を見まする
 ときに県下においては割合に進んでいる反面においては二
 年制のところと一年制のところと全然ない、保育所が
 これを代行しているところの三種類があるものでござります。
 そのため二・三年制保育のところと一年制保育のところと

保育所が代行してゐるところの地域におきます格差は
小学校に入ってからのもそのまま学力として大きな開きを
持つて現われてゐるのをごさいます。

教育の基本理念からいまでも基本的人権の尊重の
面からいまでもこうたことがあつてはならないと思つて
ございます。

従つて小学校に一幼稚園を新設してまう市民入
々々が平等な幼児教育を受ける機会を与えてや
ることが本市におきますところの急務であらうと
思つてございます。この点が請願事項の第一項の
内容であるわけございます。これと合せて幼稚園は
保育園と本質的にその内容を異にするものござい
ます。それ故に児童福祉の面からまた幼児
教育を充実させる面からも保育所に措置されな

ければならないところの児童については完全に保育所に措置することが当然でございます。

従いまして一小学校区におきまして保育所を完備し、措置児童の完全收容をはかろうとした点、このことを合せて請願するものでござります。次にこうした観点から一小学校区に一幼稚園、一保育園の新設をすることとより容易に実現でございますように、国、県をはじめとした関係機関に働きをうけていただきたいというところが第二委員の請願事項なのでございます。すなわち幼稚園施設に付するところの新設の最高国庫負担金が三割でございます。これを八割まで引き上げると、一ということと保育所新設におきますところの、割の国庫補助金をさうに増額していただくというところが第二委員でござります。

第二表目は幼稚園教員の給料でございます。これに
対して現在、国は補助金を出しておりまして、
国庫負担金を三分の一程度に減らしたというこ
とでございます。それによりまして幼稚園教員の
給料を教職員俸給表の三の適用を完全にさして
いただきたというところでございます。教育職員給料
表三というのは公務員法で定められております。小
学校、中学校、幼稚園教員の給与表の準則でござ
います。しかしながら幼稚園の教員につきましては地方財
政の奥情から必ずしもこの法律で定められた給料表
が適用されてないわけでございます。

館山市においてはほぼ教育職員給料表の三を適用
されておるわけでございますが、初任給に一号昇給にお
いて三ヵ月間の開きがあるという奥情でございます。

第三委員は保育所保育給与を改善して乙地域と甲地域の格差をなくしていただきたいというところがございます。現在甲地域と乙地域におきますところの格差はほぼ一割程度でございますけれどもこれを引き上げて甲地域にしたいということがございます。

第四委員は父兄軽減をはかる意味からも現在特に地方交付税の積算基礎に幼稚園は入っておらないのでございます。しかしながら幼児教育の重要性は国家的問題になっておる今日地方交付税の単位費用の中に幼稚園を独自に設置してもらつてということをお願いしていただきたいというところがございます。

第五委員は私立・公立を問わず幼稚園と保育園に對する国庫の助成を大幅に増額していただきたいと

いうことを統括的にお願いしてあるものでござります。
以上が請願の内容であります。が、こうした点につきましては従来からも常々本会議において討議され、市当局においてもその実現に努力されているものと思われ、ます。しかしその成果が現実には具体化されてい
ない面もあることはいふのでござります。

従ってこの請願書に見られますように現場の先生
方からこころした請願書が出されているという点とさう
にこの請願書の内容にありますような幼児教育の
重要性を御理解していただき、よろしく御採択して
いただくことを請願者にかわって切にお願い申しにげま
す。

よろしくお願い申しにげます。(拍手)

議長(田中祿郎君)

以上で説明を終ります。

本請願書に打して御飛言がござりますか

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(田中禄郎君)

異議なしと認めます

本請願書を採択し関係当局に送付いたしますこと
に御異議ありませんか

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(田中禄郎君)

異議なしと認めます。よって請願書を採択し関係当
局に送付することと決まりました。

次に陳情書を上程いたします。

(書記朗読)

議長(田中禄郎君)

以上で朗読を終りますが本陳情書に對し御発言
がございませぬか

〇七番（里）川佐太郎 君一

本件に對しましていささか申しにげます。

幼児教育の重要であることはいさう私が申しにげる
までもないことであります。そこでまだ館山市におきま
すは幼稚園のあるところ。ないところ。二年制のところがあり一年
制のところがある。これは教育の機会均等ということを考
える場合にはなほだおもいからざる現象ではなからうか
と思ひます。この際幼児教育の重要性にかんがみまして
館山市におきましても機会均等の精神を持てゝいか
るべく方法を講ずべきだと考えます。

そういう意味からこの陳情には私は心から賛成するもので
あります。どうか市当局におきましては私のただいま申しに

「まゝ」た矣を留意されて善処されんことを希望いたします。

○議長（田中禄郎君）

本陳情書を採択し、関係当局に送付いたしますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中禄郎君）

異議なしと認めます。よって陳情書を採択し、関係当局に送付することに決定されました。

安沢徳順君から議員の辞取願いが提出されております。

おわかりいたします。

この際、安沢徳順君の議員辞取の件を日程に追加し、議題とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（田中 禄郎 君）

異議なしと認めます。よってこの際安沢徳順君の議員辞取の件を日程に追加し、議題といたします。まず辞取願いを朗読いたします。

（辞取願いの朗読）

議長（田中 禄郎 君）

おほかりいたします。

安沢徳順君の議員の辞取を許可することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（田中 禄郎 君）

異議なしと認めます。よって安沢徳順君の議員の辞取を許可することに決定いたしました。

以上をもちまして三月十一日招集の第一回市議会定例会に付議された全議案はことごとく議了されました。

よって本定例会をこれにて閉会いたしたいと思います。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（田中祿郎君）

異議なしと認めます。よって第一回市議会定例会は閉会することに決まりました。

非常に長い会期中ごくろうさまでございました。

午前十一時五十分

閉会

本日の会議に付いた事件

一 議事日程に同じ

一 請願書曰

一 陳情書曰

一 安沢徳順君議員辭職の件

出席議員

吉田勇治郎

鈴木正一郎

小柴孝

館石伝蔵

田中祿郎

秋山六三郎

望月照正

安西益男

辻田実

石井正

菊井敏博

志村信作

小沢恵太郎

関武夫

黒川佐太郎

西村貞次

藤田好治

保科忠夫

江田徳太郎

君塚喜三

中村有吾

島野茂樹郎

嶋田繁

山田教宇

鈴木市蔵

安藤亀吉

三沢節

高橋文治

山本昇

松本藤太郎

山口康

欠席議員

田村源治郎

萩生田七郎

安沢徳順

昭和四十二年三月二十八日

右会議、次を録し、ニニ署名す。

鎌山市議会議長

田中祿郎

同 署名議員

志村信作

同

中村省吾

